

農地中間管理事業の推進に関する法律（平成 25 年法律第 101 号）第 26 条第 1 項に基づき農業者等の協議が行われたので、同項の規定により下記のとおり公表する。

平成 30 年 3 月 28 日

八戸市長 小林 眞  
(公 印 省 略)

## 記

1. 協議の場を設けた区域の範囲 **〔市川地区〕**  
轟木、和野、高屋敷、赤畑尻引、桔梗野、向谷地、浜市川、橋向、古場蔵集落
2. 協議の結果を取りまとめた年月日  
平成 30 年 3 月 28 日
3. 当該区域における今後の地域の中心となる経営体（担い手）の状況  
29 経営体数  
法人 1 経営体  
個人 27 経営体  
集落営農（任意組織） 1 組織
4. 3の結果として、当該区域に担い手が十分いるかどうか  
・担い手は十分確保されている。
5. 農地中間管理機構の活用方針  
・地域の農地所有者は、原則として農地中間管理機構に貸し付ける。
6. 地域農業の将来のあり方  
・単一の農業経営ではなく、水稻、小麦、大豆、いちごを中心とした複数部門による農業経営を行い、地域農業を維持させていく。